

道路橋伸縮装置製品

瀝青シート

遊間止水シール

テッドルーフ[®]JH フィンガーリッチボンド[®]

路面の変位を
吸収し
車両走行の快適性を
保ちます

比較的移動量の小さい橋梁の場合には、汎用の舗装材料を使用してジョイント部の変位を分散させる伸縮装置“埋設ジョイント”にて対応するケースがあります。埋設ジョイントは前後の舗装と同等の舗装体を使用する事で、高い走行性を得ることを目的としています。

当社では、伸縮分散型の埋設ジョイントを設置する場合に使用される舗装体以外の材料を取り揃えています。舗装体が十分に橋梁の変位を吸収するための瀝青シート「テッドルーフJH」、および確実に遊間を止水する弾性シール材「フィンガーリッチボンド」が各性能を発揮し、優れた埋設ジョイントを形成します。



特長

♪ ノージョイント化が可能

車両走行の安定化、振動や騒音の問題を解決。

😊 容易な施工で作業性良好

汎用のアスファルト混合物を用いる為、特殊混合物の必要性が無く、施工が簡単。

💧 止水性良好

遊間にシール材が充填され、雨水等の漏水や融雪剤による支承部等の劣化を抑制。

一般物性

●伸縮分散型用シート テッドルーフJH

試験項目	単位	規格値※
厚さ	mm	1.0~3.5
引張強さ	長手方向	N
	幅方向	
伸び率 (最大荷重時)	長手方向	%
	幅方向	
低温可とう性	長手方向	—
	幅方向	
吸水膨張率	長手方向	%
	幅方向	
加熱収縮率	長手方向	%
	幅方向	

※試験方法

「道路橋床版防水便覧」に示すシート系防水材料による。

※NEXCO3社規格

●遊間止水用シール材 フィンガーリッチボンド

試験項目	単位	規格値※
外観	主剤	淡黄色液体
	硬化剤	黒色液体
混合比(重量) 主剤：硬化剤	—	1:3
比重	—	1.1 ± 0.2
硬度	—	C8 ± 5
最大引張応力	kN/mm ²	80以上
破断時伸び	%	600以上
50%圧縮強さ	kN/mm ²	70 ± 50
復元性試験	%	90以上
180°はく離接着強さ	kN/mm ²	0.5以上
せん断接着強さ	kN/mm ²	200以上
引張・圧縮繰返試験	—	異常のない事
セルフレベリング	—	良好

※試験温度=23℃

構成例

● 施工断面図

埋設ジョイントの使用範囲は右の表の通りです。

支 承 条 件	固定側	可動側
伸 縮 量	—	20以下
埋設ジョイントの種類	標準タイプ	

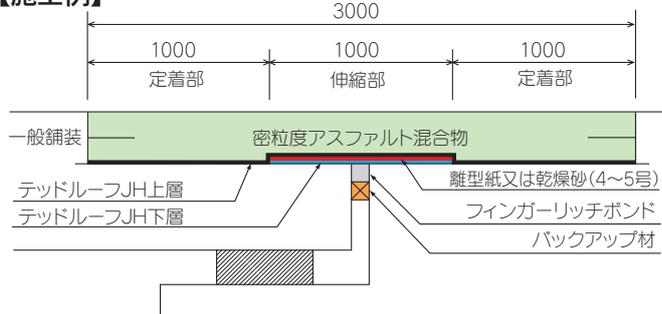
伸縮分散型(伸縮装置M1)

舗装体の上層、下層ともに表層用密粒度アスファルト混合物で構成されるタイプ。固定支承部および伸縮量が極めて少ないジョイント部について適応されます。中央部1mが伸縮部で両側1mを定着させる。下層と上層のシート部は接着させない。

※伸縮装置M1はNEXCO 3社仕様

※別途資料を準備しています。

【施工例】

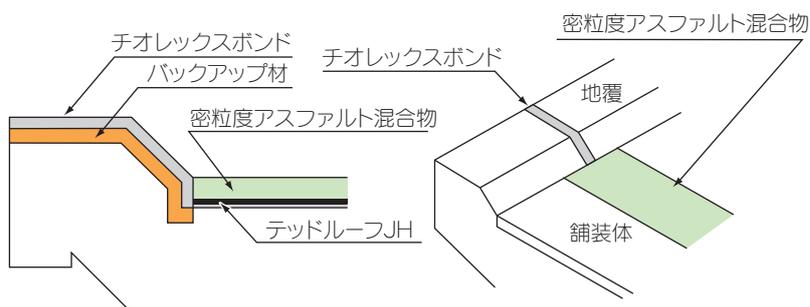


● 地覆部処理

地覆部の止水例

地覆は、橋梁の動きに追従し、漏水が無いように処理する必要があります。

右図の様に常温式高弾性シーラ材(チオレックスボン)が落ち込まないようにバックアップ材を挿入し、常温式高弾性シーラ材(チオレックスボン)を充填します。



施工上並びに保管上の注意



- (1) 施工前に被着体のレイタンス塵埃、油脂等を十分に除去して下さい。
- (2) テッドルーフJHを貼り付ける前には必ずプライマーTもしくはTW※を刷毛等で塗布して下さい。(標準塗布量=0.2~0.3kg/m²)
※プライマーTWは粘着性を有します。
冬季における低温下条件にて有効です。
- (3) フィンガーリッチボンドを注入する前には必ずプライマーFを刷毛等で塗布して下さい。(標準塗布量=0.2kg/m²)
- (4) プライマーは溶剤を含みますので、取扱いには十分に注意して下さい。
- (5) 材料を保管する際には直射日光を避け、室内にて保管して下さい。
- (6) その他安全性に関する詳細は、安全データシート(SDS)を参照して下さい。

荷 姿

製品名	荷 姿	備 考
テッドルーフJH	15m/巻	約35kg/巻
プライマーT、TW	15kg/缶	テッドルーフJH用プライマーT:危険物第四類第1石油類 TW:危険物第四類第2石油類
フィンガーリッチボンド	4kgセット 主 剤:1kg/袋 硬化剤:3kg/缶	主 剤:危険物第四類第4石油類 硬化剤:危険物第四類第4石油類
プライマーF	1kg/缶 17.1kg/缶	フィンガーリッチボンド用プライマー 危険物第四類第1石油類



アオイ化学工業株式会社

本社/〒731-0141 広島市安佐南区相田1丁目1番26号 TEL(082)877-1341(代)
http://www.aoi-chemical.co.jp FAX(082)879-7260

東北支店/TEL(022)384-3171(代) FAX(022)382-1260	広島工場/TEL(0826)46-3511(代) FAX(0826)46-2843
関東支店/TEL(03)3993-9311(代) FAX(03)3993-9315	埼玉工場/TEL(048)584-2511(代) FAX(048)584-2510
北陸支店/TEL(025)280-0131(代) FAX(025)281-8338	北京支社/TEL+86(10)-65584184 アオイテク/サービス(株)/TEL(082)877-0017(代)
中部支店/TEL(052)332-5611(代) FAX(052)332-5615	アオイコーポレーション(株)/TEL(082)877-7336(代)
近畿支店/TEL(06)6631-2060(代) FAX(06)6631-2170	アオイドリーム(株)/TEL(082)831-1345(代)
中四国支店/TEL(082)877-7171(代) FAX(082)877-5280	台湾/奥徳化学建材股份有限公司
九州支店/TEL(092)623-5556(代) FAX(092)623-5559	シンガポール/AOI KAGAKU(SINGAPORE) PTE.LTD. TEL(65)6659-1137(代)